

(宣言日) 令和4年12月11日

富士山SDGs推進パートナー宣言書

私たちは、「富士山を守り 未来につなぐ 富士山SDGs」を推進する富士宮市とともに、持続可能なまちづくりに向けて、次のとおり取り組むことを宣言します。

団体・事業所名称	株式会社 富士山（道の駅 朝霧高原）
区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 企業（業種： ） <input type="checkbox"/> 特定非営利活動法人・非営利団体 <input type="checkbox"/> 教育・研究機関 <input type="checkbox"/> その他団体（ ）
代表者職/氏名	代表取締役社長望月 光雄
所 在 地	富士宮中原町100
U R L	
電 話 番 号	0544-28-6600
メールアドレス	info@asagiri-kogen.com
反社会的勢力でないことの誓約	<input checked="" type="checkbox"/> 反社会的勢力でなく、反社会的勢力との関わりがない。

団体・事業所として 2030 年（中長期的な）のあるべき姿	
道の駅朝霧高原最大のセールスポイントである観光資源「富士山」の自然環境を守るために、朝霧高原の野外イベント開催時および開催後、参加者全員が対象となる清掃活動および全社員参加型の草刈り活動を行う。	
団体・事業所としてのSDGs達成に向けた特徴的な取組（予定を含む）	
共有資源である富士山伏流水を永続的に守り、かつ最大限有効活用するため、全社員に節水への意識改革を促す。 また県内外の道の駅訪問者の方々に訴求するため、富士山と歩んできた歴史を紹介する展示場を設けることにより、道の駅朝霧高原が世界に富士山の素晴らしさを発信する場所となることを目指す。	
SDGsの各目標に向けた取組内容及び目標	
注力するゴール	2022年12月までの取組内容及び目標
8	1名以上の障がい者雇用
12	お客様のマイバッグ持参率を向上し、レジ袋使用率の5%削減を目指す。
15	クールビズ・ウォームビズを積極的に取り入れることにより冷暖房機器に頼らない環境づくりを目指す。 (電気使用量削減1%)

(記入上の注意)

- 3つの目標に関する取組を記載してください。(環境・経済・社会の3分野からそれぞれ選択していることが望ましい。)
- 目標は、なるべく数値や数量でどのような貢献ができるかを表していることが望ましい。
- 上記の書式に書き切れない場合には、任意の様式で提出いただいて構いません。

宣言書送付先：富士宮市企画部企画戦略課 (kikaku@city.fujinomiya.lg.jp)